

## 「バストス保育施設新築計画」 供与式



来賓による国旗掲揚



(左から) トヨシマ会長、  
西林総領事、シャーガス市長

2006年7月21日、サンパウロ州バストス市、「バストス児童支援協会」(ABAI)の施設で建物の供与式が行われ、西林万寿夫総領事、野末雅彦 JICA サンパウロ分室次長、シゲユキ・トヨシマ同市副市長兼 ABAI 会長、ナタリーノ・シャーガス同市市長、小野悟郎バストス文化協会会長他約 200 名が出席しました。

トヨシマ ABAI 会長は、年々児童が増え、施設はその需要に答えられなくなっていたが、総領事館の厚意により建物を拡張することができ、日本政府に夢が実現した我々の感謝の気持ちを伝えてほしいと謝意を述べました。

シャーガス市長からは、昨年バストス障害者を支える親と友の会 (APAE) への支援に続く同市での 2 件目の支援が今日実現して大変嬉しく思うと謝意の挨拶をしました。

西林総領事からは今回の協力により、子供たちの教育環境が改善することを心より期待し、またこの支援によりバストスの子供たちやその家族のお役に立てることを大変嬉しく思っていると述べました。

関係者の挨拶後、テープカット、プレート除幕、児童の合唱、児童の謝辞の朗読、施設見学が行いました。



合唱後、児童達と握手



児童達に囲まれる西林総領事

○上記案件のプロフィール

案件名：「バストス保育施設新築計画」

被供与団体：バストス児童支援協会

契約署名日：2005年10月26日

供与限度額：93,353米ドル



建築された建物の前

案件概要：

バストス児童支援協会は、1975年サンパウロ州バストス市に設立された非営利団体で、主に共働き家庭の幼児・児童の保育、教育等を無料で実施しており、現在約210名が通園しています。

同協会の建物は、築70年が経過し老朽化が進んでおり、雨漏りや天井のたわみ等が発生していました。

この度、我が国の無償資金協力により、教室建物の新築を行い、教育環境の改善を図ることになりました。



建築された建物